
オレはどう～夢と希望と混沌（カオス）と私～

oms-Vリープ

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

オレがどう〜夢と希望と混沌カオスと私〜

【Nコード】

N1141U

【作者名】

oms・Vリープ

【あらすじ】

息子から言われた「赤ちゃんはどこから来るの!？」よし、それじゃあ見に行こう……くっ、これがシュタインズゲートの選択だというのか。

爽やかな朝。

「オッス！オラオラオラオラオレぶどう！ 赤ちゃんはどこから来るの！？」

どこまでが名前なのだろう、そんな疑問が頭をよぎる。だが問題はそこではない。

「……………どうした？ トモ君。こんな朝早くに……………そんなこと聞いて今日は日曜日。昨日も休日出勤で、オマケに五時間ぐらい残業。ゆっくり寝かせて欲しい。しかし、パジャマ姿の小さな探究心は僕の言葉には耳を貸すつもりはないようだ。

「赤いキツネの赤ちゃんのアカウントがアカンって言われたから、オカんにヤカンを『バカン！』とぶつけたらイヤン（はーと）て言われて、ミカンをバトン代わりにアイルトンと遊んでたら質問されたの」

「おい！ アイルトンってセナなのか？ 音速の貴公子セナなんだな！」

「難しい話はわからないよお」と指をくわえる。僕は騙されないぞ。

「コホン……………赤ちゃんはね、七つのボールを集めた人だけが教えてもらえるんだ」

「そんな話、今時幼稚園児でも信じな……………信じる！ 今からダイ冒険だーい」

僕の手を引つ張り駆け出した。くそう、これなら普通に医学書見せてげんなりさせるべきだった。

パジャマ姿で住宅街を走る影二つ。周りから見れば仲の良い親子の早朝ジョギングに思われるのだろうか。眠い。勘弁してくれ。

「つつかもうぜ！ 顧客のニーズ」

「トモ君、静かに！ 近所迷惑だから！ 飛び出したら危ないって

！！」

ノリノリで歌うクソガキを追いかけ、周囲の状況を見る。早朝、しかも日曜日の、ということもあり、車の通りが極端に少ないのは幸いだっただ。そうこうしている内に、

「ポポポポ　　ン！」

クソガキが叫ぶ。効果音の出自は不明だが、とりあえず目的地に着いたようだ。

フットサルができそうな空き地。土管が三つ、ピラミッド型に積まれている。空き地の隣には「カミナリおやじ」と書かれた表札。もしやガキ大将がいて、キツネ顔の腰ぎんちゃくがいて、すぐお風呂に入る露出狂の女の子もいて、青いネコ型ロボットが出てく…
…土管から何かが出てくる！

「ヒイヒイヤツホ　　ッ！」ヒゲのオッサン土管工だった。しかも緑。僕は息子の手をとって土管にもぐりこむ。すると当たりは真っ暗になり、デレデレデレと電子音が鳴る。まさか……これは地下世か

『ハッピーバースデー　　ウウーイヤー　　ハッピーバースデー
ウウーイヤー　　』ケーキが花火を添えて運ばれてくる。

「はい、今日は貴方の誕生日です」とサングラスの男は適当な口調で説明する。ぶち壊そう。そう決心した。

「ハイ、コレプレゼントネ」

カタコトの日本語でグラサンが微笑む。胡散臭い。彼が渡してきたダンボールを受け取る。そこそこ重い。何か玉のようなものが入っているのか。ゴロゴロと箱の中で転がる。

「ボクにちょうだい」

トモ君のそばに箱を置くと、無造作に封を開け始めた。

「ナニが出るかな、ナニが出るかな」

グラサン大発狂。助けてくれ。そして箱の中を覗くと

「ニヤー」ネコがいた。首輪には持ち主の名前が書かれていた。

『持ち主：シュレーディングー』と。シュレーディングーのネコは生きていた。毒はどうなったのだ？

「アナタが運命を書き換えたのだよ。観察者君」

グラサンの男がニヤリと笑う。そうか……これがシュタインズゲートの選択だというのか！

箱の隅に置いてあった玉が光りだす。まさかこれは……ボクは意識を失った。

爽やかな朝。

「オッス！オラオラオラオラオレぶどう！ 赤ちゃんはどこから来るの！？」

どこまでが名前なのだろう、そんな疑問が頭をよぎる。だが問題はそこではない。

そうだ。問題ではないのだ。

僕は息子の頭をむんずとつかむところ言った。

「【ピー】が【イヤン】で【ドキュウウウウン】すると【×××】になって赤【ピー】ができるんだよ」

息子は死んだ目で愛想笑いした。

完

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能たんのうしてください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n1141u/>

オレぶどう～夢と希望と混沌（カオス）と私～

2011年10月3日17時27分発行